



**ふくやま** **草戸千軒ミュージアム**  
**ニュース**  
～第125号～  
広島県立歴史博物館

HIROSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

くざとっきー せんちゃん

令和2年度 早春の展示

# 中世ものづくり

令和3年1月2日|土| ▶ 3月14日|日|



下駄



漆器椀

※2点とも重要文化財広島県草戸千軒町遺跡出土品(当館蔵)

この展示会では、草戸千軒町遺跡出土品を中心に、中世の人々が使用した様々な道具や器物を展示します。これらの品々を観察すると、より優れたものを追求した職人たちの高い技術力を知ることができます。その反面、多くの人々の手に渡るように、安価で大量生産できる方法を目指した職人たちの創意工夫も見とれます。この展示会を通して、人々の生活をより豊かにした中世ものづくりを分かりやすく紹介します。

関連行事は2頁へ ▶▶

# 人々を魅了した青磁

中世は、「唐物」と呼ばれる中国を中心とした東アジアの製品が大量に輸入された時代です。その中で、代表的なものとして挙げられるのが、中国で作られた青磁です。中国での生産地拡大や、日本と中国の商人による活発な交易を背景に、多くの人たちが青磁を手に入れました。しかし、幅広い層の需要に応えるため、青磁の品質に差ができるようになります。



写真1 様々な青磁(当館蔵)

## “底のハゲ、内のハゲ”

写真2・3は、香炉(写真1の左端)を上と下から撮った写真です。横から見るときれいな青緑色の釉薬が全体に掛かっているように見えますが、底にも内面にもハゲているところが!どうして釉薬が掛かってないのでしょうか。

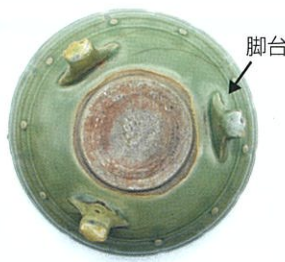


写真2 香炉の底面



写真3 香炉の内面

まずは底のハゲ。これは、器を焼くときに必要なハゲです。釉薬を付けた器を焼く注意点として、窯の床に接する部分には釉薬を付けてはいけません。その理由は、焼成中に釉薬が溶けて、窯の床とくっついてしまうからです。そうすると、この香炉では三つの脚台が窯の床に接する部分ではないかと疑問に思うかもしれません。しかし、焼成前はまだ強度がないため、焼成中に脚台が全体を支えきれずに形が歪んでしまう可能性があります。そのため、安定する器の底部の釉薬をかきとり、その下に円柱状の焼台を置いて、窯で焼いたと考えられます。

それでは、内面のハゲは何でしょうか。これは、重ね焼きをするためだと考えられます。当時、東アジアを中心に人気だった青磁は、生産量を求められていたでしょう。そこで、職人は少しでも多くの器を一度に焼くため、この香炉の内面の釉薬をかきとり、その上に別の器を置いて焼いたのではないのでしょうか。生産量を増やすための職人の創意工夫といえます。とはいえ、底のハゲはしょうがないけど、内面のハゲは…。

このように、早春の展示『中世ものづくり』では、資料に残る痕跡から中世の職人たちのものづくりについて考えてみたいと思います。

### 関連行事

回数	演題	講師	日時
1	早春の展示開催記念講演会①・考古学講座① 「中世製鉄技術の発展と特産地の形成」	島根県埋蔵文化財調査センター 調整監 角田 徳幸	1月16日(土) 14:00/15:30
2	早春の展示開催記念講演会②・考古学講座② 「草戸千軒にみる漆器の変遷」	当館 学芸員 下津間 康夫	1月30日(土) 14:00/15:30
3	早春の展示開催記念講演会③・考古学講座③ 「備後南部地域の中世石塔類」	広島県教育事業団埋蔵文化財調査室 元室長 篠原 芳秀	2月6日(土) 14:00/15:30
4	早春の展示開催記念講演会④・考古学講座④ 「草戸千軒町遺跡の木製品」	当館 学芸員 森本 直人	2月27日(土) 14:00/15:30

展示解説会/日時:1月24日(日)・2月28日(日),13:30~14:30 講師:当館学芸員

休館日/1月11日(成人の日)を除く月曜日,1月12日(火)  
2月2日(火)~2月5日(金)(臨時休館)

入館料/一般290円(220円),大学生210円(160円),  
高校生まで無料 ※( )は20名以上の団体



お正月だよ! **こども博物館**

令和3年  
1月2日(土)・3日(日)開催!



博物館のまわりで、コマまわしや羽根つきなど、伝統的なお正月遊びが一日中できるよ!

# 頼山陽史跡資料館

## 特集展「新春屏風名品展」 令和3年 1月5日(火)～1月31日(日)

頼山陽史跡資料館は、日本の近世・近代の書画作品を展示する機会が圧倒的に多いのが最大の特徴です。書画、特に書作品がなくては展示を作っていくことはできません。頼山陽をはじめとする頼家の人々はいずれも能書家として知られ、特に春水・春風・杏坪・山陽・聿庵・支峰・鴨厓(三樹三郎)の七人を世に七頼と呼び、その作品は今も古美術の世界ではよく見かけます。書道美術館としての顔も持つ当館ですが、絵画作品もそれなりの数を収蔵しています。

頼山陽のように文雅を愛した人々が描いた画は、文人画とか南画とか呼ばれます。江戸時代の文人画・南画の流れは、明治期以降にも引き継がれました。また、近年は伊藤若冲や円山応挙を中心とする江戸絵画に注目が集まっていますが、江戸時代後期は多種多様な絵画が登場した時代です。中でも円山応挙や呉春に始まる円山四条派は一大勢力となり、近代の日本画確立に大きな影響を与えました。文人画・南画はもちろんですが、当館ではこれまでに広島ゆかりの円山四条派の画家たちの作品も紹介してきました。円山四条派系の日本画は、近代日本画の流れでいうと旧派とひとくくりにされてしまっていますが、彼らの卓越した画技は一見の価値があります。

ここで紹介しているのは、明治大正期から戦前にかけて活躍した田中頼璋(1866～1940)の山水図屏風(右隻)です。頼璋は円山四条派の画家で、山水を得意とした人ですが、その作品にはどこか文人画・南画でいう「気韻生動」に通じる空気感があります。

1月5日から開催する特集展では、当館が収蔵する絵画作品の中から屏風の作品を特集して展示します。屏風ならではの表現や、文人画・南画と円山四条派の画法の違いなどを見比べていただきます。是非御覧ください。



山水図屏風(六曲一双:部分) 屏風 紙本墨画淡彩 大正6年(1917)頃 田中頼璋筆 個人蔵

## 頼山陽史跡資料館

- 会場 / 広島市中区袋町5-15 TEL.082-298-5051
- 時間 / 9:30～17:00(入館は16:30まで)
- 休館日 / 月曜日(ただし1月11日〔月・祝〕は開館)、1月12日(火)
- 入館料 / 一般200円(160円)、大学生150円(120円)、高校生まで・65歳以上無料  
※ ( )は団体20名以上の料金 ※特別展・企画展は別料金です。
- 関連行事 / ●展示解説会 日 時:1月9日(土)・23日(土)いずれも13:30～  
解 説:当館職員



RAI  
S  
A  
N  
Y  
O  
U

## 日本最大級の古地図コレクション

もり や ひさし

# 「守屋 壽コレクション」が令和2年10月1日に当館に寄贈されました!

守屋壽コレクションは、福山市出身の守屋壽氏が、長年にわたり蒐集、形成された日本屈指の古地図を中心とする歴史資料コレクションです。また、コレクションの形成には、小木佳苗氏が大きく貢献されました。

コレクションの内容は、16～19世紀を中心とする日本及び西洋における地図の発展の様子や、この時期の日本と諸外国との文化交流を示す歴史資料を核としています。さらに、近世・近代の鞆の浦や福山市、広島県に関わる資料なども多く蒐集されています。

コレクションは歴史資料と図書資料からなり、総点数は、平成26年以來、数度に分けて寄託されていた1,226点に加え、新たに124点を合わせた1,350点を数えます。

当館では、10月14日(水)に、プレス向けに記者会見を行い、寄贈を受けたこととともに、これを記念した展示会「守屋壽コレクションのベストセレクション」展を11月20日(金)～12月6日(日)の会期で開催することを発表しました。

今後、調査研究を進めて、展示や、目録・ホームページでの紹介など、様々な活用させていただきます。どうぞ御期待ください!



記者会見の様子から

### ◇コレクションの主な資料



「フトレマイオスの世界図」

コロンブスのアメリカ到達(1492年)以前の西洋の地図で、近代世界地図の出発点とされる初期の印刷世界地図の1枚である。

同時期のものは、日本国内にはわずかしかない。最初期の西洋の印刷物としても貴重である。

大航海時代の出発点の地図。かのコロンブスも、この地球像に従い中国を目指して大西洋を西に航海した。



「日本扶桑国図」

室町時代の日本地図で、国内最古級の日本地図の一つ。本州・四国・九州はほぼ欠損がなく、列島全体が現存している最古の日本地図として、学界でも注目を浴びた。



「万国総図」

日本初の印刷世界地図で、江戸時代前期に長崎で製作された。現存例は極めて少なく、各図数点ほどしか確認されていない。

地図と人物図の2枚組であるが、2枚ともそろっているのは、本コレクションのほか、一例のみである。

### 休館情報

年末年始は、令和2年12月28日(月)～令和3年1月1日(金)に休館します。  
また、施設維持管理のため、令和3年2月2日(火)～5日(金)に臨時休館します。

## ふくやま草戸千軒ミュージアム(広島県立歴史博物館)ニュース 第125号

編集・発行 令和2年11月20日



〒720-0067  
広島県福山市西町二丁目4-1  
TEL(084)931-2513 FAX(084)931-2514  
URL : <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/rekishih/>  
e-mailアドレス : [rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp](mailto:rhksoumu@pref.hiroshima.lg.jp)

